

2024 年度 第 12 回理事会議事録

2025 年 3 月 13 日（木）19 時 30 分、WEB 上にて理事会を開催した。

定刻に、副会長 伊藤伸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	28 名
本日の出席理事数	27 名
監事総数	2 名
本日の出席監事数	1 名

- 出席役員：会長）宇田英幸 副会長）茂木有希子、伊藤伸 理事）赤間公一、石川麻子、犬塚功一、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、北村ミチル、小池祐士、神山真美、鈴木香織、鈴木康子、館岡周平、種沢浩平、近森貴裕、原裕如、平田樹伸、藤田真弓、丸達也、吉田朋子、分須 陽
監事）中間浩一
- 委任役員：理事）阪井之哉、高橋啓吾、高橋暢介、田坂翔太 監事）土屋美樹
- 欠席役員：理事）渡部慶和
- 他出席：訪問リハ）加藤恒平 東部ブロック）内藤大佑 法人管理部）駒崎かんな
- 他欠席：

■議 題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第 1 号議案 2024 年度 第 11 回 理事会議事録について【法人管理部：駒崎】（資料 1）

内容を確認し、満場一致で可決された。

第 2 号議案 研修会申し込みでの重複支払いの件【財務部：北村】（資料 2-1・2）

研修費の重複支払いができてしまうため、返金対応で事務部の手間が大きい。重複支払いが多発する理由として、自動返信には研修会名の記載がなく研修会コードのみで、どの研修会に申し込みをしたかが不明だったことが意見として挙げられた。HP デザイン委託しているデザインサポさんに依頼し、自動返信タイトルに研修会名を記載できるようにすることで対応可能であるが、改修に 20 万程度必要となる。お金をかけずに対応する方法として、自動返信文に「この研修会のコードは〇〇です。重複して支払わないようご注意ください」等の注意喚起をしてはどうかというご意見やフォームメーカーの決済を利用することを検討してはどうかというご意見、Paetex を利用している学会士会もあるので調べてみてはどうかというご意見が挙げられた。

ゼウスでの決済以外の使用も含め、本議案は継続審議とする。

第3号議案 2025年度予算案（1次予算案）の件【財務部：北村】（資料3）

予算提出いただいたものをふまえ、各部署に増減額の検討をいただきたい。また、会場費を計上しながら交通費の申請がないなど整合性がないものもあるため、再検討をいただきたい。修正したものをBAND上に再提出いただきたい。本議案は継続審議とする。

第4号議案 第34回埼玉県作業療法学会への子供同伴での参加について【第34回埼玉県OT学会：高橋】（資料4）

産休中・育児中でも自己研鑽したい方もおり、そのような方々にも学会に参加しやすいように子供同伴で学会参加できるようにしたい。子供も一緒にモニターが見れるブースを設置する、または託児サービスを設けることを検討したい。子供と一緒にモニターを見れるブースを設置することを、満場一致で可決された。また授乳室やおむつ交換ができるスペースも今後検討いただくこととする。

第5号議案 埼玉県作業療法学会での一般演題查読の会務作業手当について【学術部：押野】（資料5）

学会查読委員が24名おり、1名につき0～3件の依頼を行っている。会務作業手当で支払いを行っているが委員によってかかった時間に差が生じている。今回は1件当たりの金額を規定できないか検討したい。

今年度は查読を行っていただいているため、次年度の変更を目指す。金額なども含め埼玉県作業療法学会查読規程を行っていく。本議案は継続審議とする。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。

3月2日宇田会長・伊藤副会長・大橋：2024年度第4回協会長・士会長会議出席
宇田会長、伊藤副会長、茂木副会長：県内養成校卒業式参列

2) 法人管理部：大橋部長より以下の報告があった。

理事会議事録作成、2025年度定時社員総会準備。

代議員選挙公示（電子定期便・ホームページ）、次期部署長意向アンケート実施
事務職員労務管理を行った。

3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。

役員選挙公示発送。

4) 財務部：北村理事より以下の報告があった。

予算案作成へのご協力ありがとうございます。色かけでご相談事項を記入した部署については、その額について再検討をお願いしたい。

3月20日時点で会計報告をいただくこととなる。

5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

研修：第2回研修会終了。参加者69名（会員59名、非会員10名：東京、千葉、神奈川）。

急性期28名、回復期31名、訪問4名。アンケートでは、非常に満足37%、満足37%。

好評であった。

編集委員会：報告無し。

学会査読：演題数 32 演題、3 月 10 日依頼、3 月 24 日締め切り。査読委員 24 名。

会務作業手当について検討中。

- 6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。

学会演題募集終了 32 件（東部 13 件、西部 9 件、南部 6 件、北部 4 件）（1 件追加予定）

演題査読中。学会参加申込み受付中。HP 随時更新。

第 34 回埼玉県作業療法学会 開催日：2025 年 6 月 29 日（日） 会場：埼玉県立大学

学会長：高橋 啓吾（リハビリテーション天草病院）

- 7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。

今年度県士会事業に関わっていたいただいた部員などに、士会裁量ポイント付与いたします。年度末に申請フォーマットを BAND にアップする。

- 8) 生涯教育委員会：神山理事より以下の報告があった。

現職者共通研修の運営準備を進めている。3 月 27 日 現職者共通研修事例報告・事例検討開催予定。

- 9) 養成教育委員会：岡部理事より以下の報告があった。

第 3 回実習指導者講習会（3 月 1・2 日）の実施。全 70 名の申し込み、68 名の受講。特に問題なく終了した。来年度の実施日を調整中。

3 月 18 日に臨床実習における MTDLP 活用の研修会を開催する。

- 10) 職能開発事業部：藤田理事より以下の報告があった。

埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会 委員としての連絡事項(埼玉県保健医療部疾病対策課からの連絡)

脳卒中部会が 2025 年 2 月 27 日オンライン会議で開催された。

- ・事業の進捗状況

資料 1-2 で説明された。

- ・治療と仕事の両立支援について

脳卒中片麻痺の方の就労支援については各病院が個別対応をしている。実態調査(人数等、具体的な項目は未定)をする必要がある。作業療法士から、就労している脳卒中当事者から意見をいただく機会があることを発言した。

- ・その他

性差医療に関するガイドラインについて、当部会では積極的に普及させるという話題ではない、と結論。

※そもそも性差医療についてこの場で確認することになった経緯は、大野県知事からの発言がもとになったとのこと。資料は 3 月理事会の資料として掲示する。

- 11) 広報部：近森理事欠席であるが、伊藤副会長より以下の報告があった。

Instagram の活用強化を検討中。質問箱機能を活用した Q&A。Instagram で質問を募集し、広報誌「彩り」にて（内容の審議を行って）紹介。

学会の様子などをリアルタイムで掲載。

SNS の運用・活用方法については、引き続き、ご意見・ご協力をお願いしたい。

12) 地域リハ推進部：館岡理事より以下の報告があった。

次年度リハビリテーションフェスタは、2025 年 10 月 25 日開催、場所は春日部ふれあいキューブで行う。

13) 地域包括ケア推進部：平田理事より報告事項なし。

2 月 19 日地域リハ専門職育成研修が行われた。

14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より以下の報告があった。

2 月 15 日 若年のつどい上尾 OT 2 名参加

2 月 20 日 お城 de カフェ OT 2 名参加

3 月 15 日 若年のつどい越谷 予定

15) 災害対策部：阪井理事より報告事項なし。

16) 制度対策部：石川理事より報告事項なし。

17) 各ブロック

- ・東部：小池理事より以下の報告があった。

- 3 月 17 日：学生と語ら Night！参加者 10 名強。何年生でも可であり、お声がけください。

- ・西部：種沢理事より以下の報告があった。

- 3 月 5 日 西部ブロック定例会

- 3 月 25 日 夏キャン打ち合わせ

- 3 月 26 日 西部ブロック語ら Night 打ち合わせ

- 6 月 4 日 みんなで語ら Night 国立障害者リハビリテーションセンターで開催予定。

- ・南部：犬塚理事より以下の報告があった。

- 3 月 10 日 今夜はみんなで語ら Night！「みんなで子どもに関わる OT の話を聞いてみよう～仕事場・支援内容など～」を開催した。参加者は 20 名。作業療法士だけでなく、当事者の方、特別支援学校の先生、学生など幅広い層からの参加がみられた。

- ・北部：分須理事より以下の報告があった。

- 2 月 25 日 北部ブロック会議 来年度夏キャン、語ら night の相談

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：加藤委員長より以下の報告があった。

3 月 2 日、訪問 OT 専門研修開催 講師：三瓶政行氏 テーマ：生活期リハの目標設定。

19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より報告事項なし。

20) 子ども支援委員会：田坂理事より報告事項なし。

21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より以下の報告があった。

研修会「PSBとMOMOの作業の適合」、5 月 21 日ズームで実施予定。研修準備中。

22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。

Band 上での情報交換、次年度の事業について検討している。2025 年度第 1 回全体会は 4 月 8 日を予定。

23) 運転再開支援委員会：赤間理事より報告事項なし。

24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。

3 月 1 日こくら会議実施。

3 月 29 日研修会『健康の社会的決定要因を通して考える作業療法の役割ー子供の貧困から生じる健康

格差一』開催。

- 25) 第34回埼玉県作業療学会：小池理事より以下の報告があった。

学会演題募集終了32件（東部13件、西部9件、南部6件、北部4件）（1件追加予定）

演題査読中。学会参加申込み受付中。HP 随時更新。

第34回埼玉県作業療学会 開催日：2025年6月29日（日） 会場：埼玉県立大学

学会長：高橋 啓吾（リハビリテーション天草病院）

- 26) 埼玉県リハビリ専門職協会：宇田会長より報告事項なし。

2. 監事より

1) 中間監事より

日々の業務に加えてご活動いただきありがとうございます。先が見えない情勢ではあるが、協力して対応していきましょう。

3. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

今年度もあと2週間となりました。みなさんの職場も年度替わりでお忙しいことと存じます。今年は国際的にも国内の政治的にも大きな動きがあり、それに伴って、OT、リハ専門職の業界でも今までにない変化がありました。ベースアップ評価料の新設、防災基本計画へのリハビリテーションの明記、埼玉県と埼玉 JRAT の協定締結などです。来年度からは身近なところでは新生涯学修制度など、国内外でもさらに大きな動きが出てくると思われますので、みなさまはまたお忙しくなると思いますがどうぞお力添えの程よろしくお願いいたします。

ひとつニュースがありまして、なんともうじき開催される大阪万博の認知症の人と家族の会のブースで、これでいいのだバンドのライブ映像が放映されるそうです。世界進出を目指してるなどと大口をたたきながら活動していたのですが本当になってしまいました。地域の活動をコツコツと続けてきてよかったなと思います。OTは何をしてくれるのかまだまだ理解が進んでいない状況ではありますが、良い体験、嬉しい体験をしたときにそこに手を貸していたのはOT だったという実績は変わらずに積み上げていければと思っています。

<2月報告>

2日 リハフェスタ

6日 令和6年度第2回「埼玉の障害者雇用を進める」関係機関連携会議

9日 現職者選抜研修（精神障害領域）

13日 理事会

17日 埼玉県リハ三団体連絡会議

20日 埼玉県医師会地域包括ケアシステム研修会

26日 令和6年度第2回地域リハビリテーション推進協議会

<3月予定>

2日 2024年度第4回協会長・都道府県士会長会議（よんぱち）

10日 リハビリテーション専門職協会理事会

12 日 上尾中央医療専門学校卒業式（今年も感動的でした）
13 日 お城 de カフェ、理事会
15 日 若年性認知症本人のつどい越谷
22 日 これでいいのだバンド出演 越谷市市民公開講座
29 日 ここから委員会研修会

2) 茂木副会長より

障害福祉の運営指導が施設に入った。虐待対応などの内容が追加されている。

3) 伊藤副会長より

3 月 1 日 OT 協会倫理担当窓口に関する会議に参加しました。倫理に関する整備を進めていきたいと思っています。

Ⅲ. その他

次回理事会：2025 年 4 月 10 日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は 21 時 10 分閉会を宣した。

2025 年 3 月 13 日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会